

PVC 第3回講演 柿本優祐氏(2020年11月28日)

「カフェ×価値 ～アイデアを形にする実現力を探る～」

世界中の学生に選択肢を与え、人生を豊かに

大学時代、日本の就職のシステムに疑問を抱いたという柿本優祐氏。

「もっと早い時期から、将来の就職を考える機会があっても良いのではないか。」

こうした思いから、プラットフォームとしての特徴を有する

「知るカフェ」をオープンした同氏にお話を伺った。

知るカフェとは？

「知るカフェ」とは、2020年11月現在、日本とインドで27店舗を展開する大学生のためのカフェである。

大きな特徴としては、

- ①大学に在籍する学生は無料でサービスを利用することができる
- ②店舗スタッフは大学生のみで運営している
- ③企業と交流できる「Meetup」を開催している
- ④知るカフェアプリ及び入店処理システムでデータを管理している

の4つが挙げられる。

特に3つ目の「Meetup」は知るカフェ最大の特徴であり、柿本氏が学生に一番届けたいものでもある。

「Meetup」とは、少人数の学生が企業の方々と知るカフェ内で対話する機会のことだ。

学部1年生から参加することができ、早期から就活や企業に触れることができる点が魅力だという。

知るカフェが生まれるまで



【大学時代の原体験】

大学時代、スノーボードサークルに在籍していた柿本氏は学部1、2年生の頃から多くの先輩や社会人と関わる機会があった。

彼らと対話する中で、自身がどのように働きたいか、どんな仕事に就きたいかは自然と明確になっていったという。

こうして就活を始める3年生の頃には、ある程度、将来の進路や目標が定まっていたという柿本氏。

しかし、周囲に目を向けると友人はそうでもなかった。

「就活の時期になって、初めて企業研究をしたり、将来したいことについて考えたり。

なんとなく就職先を決めて、なんとなく流れに身を任せて…っていう人も結構いたんです。

そういう姿を見たときに、『ああ、もったいないな』って。

折角就職するなら、もっと早い時期から考える機会があってもいいはずだって。」

「社会人との出会いを、偶然から必然にしたい。」

これは柿本氏にとって、知るカフェを生み出す原体験となった。

【就職の道を選んで】

こうした熱い思いを持った柿本氏だが、大学卒業後、すぐに起業の道に進んだわけではない。

知るカフェのアイデアを実現する前に、必要なスキルを身に付けるべきだと考えた。

柿本氏にとって、これがアイデア実現までの「最短ルート」であったという。

「1番厳しい環境下で働きたいと思い、若手にも裁量権がある企業に就職を決めました。」

「企業側も、就活の時点で僕の夢に共感してくれました。おもしろいアイデアだねって。」

2年半の間、その企業で働く中で、
営業をたくさん経験し、交渉力や資料作成のコツなどを学んだ。

「大学時代に知るカフェ設立のため企業に支援をお願いしに行ったとき、
『渡した資料を見て、出直してこい』と言われたのを思い出しました…。」

アイデアの実現に向かうとき、会社を辞めることに抵抗がなかったわけではない。

しかし、「多くの学生に就職を考える機会を提供したい」という
学生時代からの強い思いが、柿本氏を突き動かした。

柿本氏は起業に動き出す。

アイデアの実現力



【本気で実現できると思えるか】

柿本氏は、「世界中の学生に選択肢を与え、人生を豊かに」というミッションを胸に動き続けている。

起業した際も、協賛を頼んだ企業から大きな反対を受け、門前払いのような扱いを受けたこともあった。

しかしながら、柿本氏は「本気で実現したい」という強い思いを見失うことがなかった。

今では、起業当初に反対された企業からも、協賛を得ている。

「本気で実現できると思えることに出会い、その思いを持ち続けることが大切だと思います。」

【諦めない限り実現できる】

知るカフェを形にする過程で、大きな困難にぶつかってきた柿本氏。

中でも大きな挑戦であるのが「知るカフェの海外進出」である。

インドに知るカフェを開くにあたって、建設スタッフがなかなか働いてくれなかったり、大学側が受け入れてくれなかったり…。

それでも、根気強くミッションを語り、何度も足を運んで熱い思いを伝えることで、インドでの知るカフェ事業の展開を実現した。

「諦めなければ、きっと必ず実現するんだと信じています。」

【1人では実現できない】

柿本氏は仲間との繋がりも大切にしている。

「アイデアを実現するには、1人だけの力では不可能です。

仲間がいたからこそ、ここまで来ることができたのだと思っています。」

【まだまだ何も実現できていない】

こうした数々の事業を成し遂げている柿本氏であるが、
「まだまだ何も実現できていない」と考えているという。

より多くの大学生に、将来や就職について考える機会を提供する――。

この柿本氏の熱い向上心は、これからも明るい未来を創り出していく。

【著者たちのひとこと】

今回のPVCは実に講演の半分を質問タイムが占め、盛り上がりを見せました。

柿本さんのお話に、学生である私たちと
教授の方々の知見が混ざり合って生まれる考えは
とても刺激的で新鮮でした。

そして改めて感じたのは、
「カフェ」を入り口にした講演会であったものの、
柿本さんの「諦めない力」や「思いを伝える力」は
どの大学生にも学んで欲しいものだったということです。

これらの力は大切だということは分かっていますが、
「なぜ大事なのか」は
リアルな原体験なしには心に響かないと思います。

だから、タイトルに囚われずに沢山の方々に来てほしいです。

ゲストが人生をかけてやっていることを通して
生き方や、ブランド、価値の作り方を皆さんと一緒に学びたいです。

柿本さんは参加者からの様々な質問に丁寧に、そして熱く向き合ってくださいました。
本当にありがとうございました。

